

とつぜんですが、みなさんは一年先の事を考えたことがありますか？

一年先には、今の社会は、大きく変化しているかもしれない。そんな先の見えない現代で、私たちが過ごしていく社会を、明るいものにするには、地域での助け合いが大切だと、私は思っています。

そもそも、明るい社会をどういう風にとらえるか、私は、犯罪や非行などが少ない、安心・安全な社会という風にとらえました。

では、明るい社会に近づけるためにはどうすればいいのか。一番始めやすく、続けやすい策は、地域の人同士での助け合いです。

お互い様の気持ちを持って助け合うことで、人の目が増え、人の目が増えることで、犯罪や非行などを防ぐことができます。

そして、お互い様の気持ちを持って助け合うことで、ご近所、地域でのつながりもでき、より松原市は温かい地域になります。この助け合い一つで困っていたら、放っておかない、悩んでいても孤立しない温かい地域に変われるんです。

本題にもどります。もし仮に、犯罪や非行をしてしまった人がいても、「コイツは悪いやつ」というレッテルをはってしまうと、人はそれに染まってしまって、一生犯罪者として孤立してしまうので、たとえ罪を犯した人がいたとしても、持ち前の地域の温かさで、一人の人間として受け入れ、他の人と同じように、一人の人間として助ける。つまり、どんな人でも困っていたら助け、一人ひとりを尊重することが温かい社会への第一歩になるということです。

このように犯罪、非行がない安心安全な社会を作っていくためには、だれか一人の行動ではなく、地域ぐるみで助け合う、チームプレーが必要になります。そのチームプレーができて、やっと温かい地域になるのです。